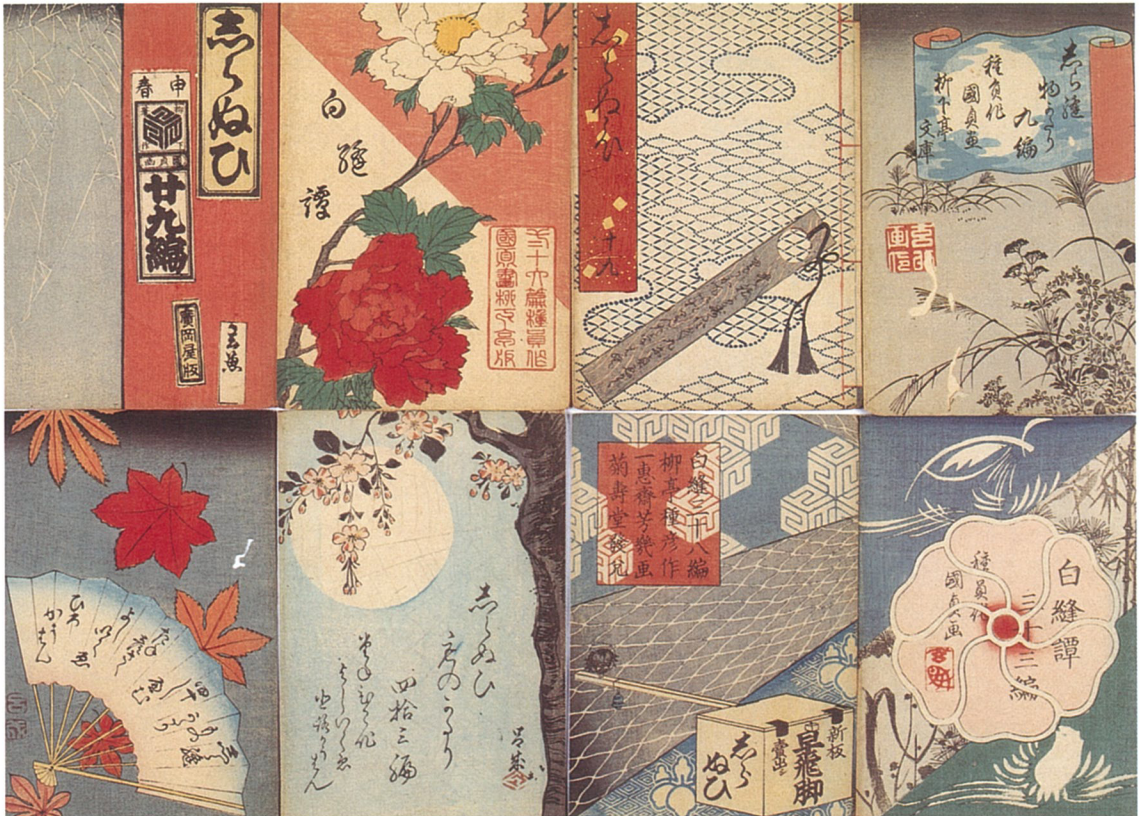


蓬左

HÔSA No.49

名古屋市蓬左文庫
Nagoyashi Hôsabunko

1993. 4



白縫譚〔書袋〕 61枚の内 (各点17.5×12.2cm)

嘉永2年(1849)から明治18年(1885)にわたって刊行され、長編合巻の中でも最大とされる「白縫譚」(70編140冊)の書袋、江戸中期以後、刊本には、書名などを印刷した紙の覆いを添えることがおこなわれた。合巻の場合は、このように小口部分が空いて筒状の形態がほとんどであった。

合巻は、娯楽性の強い挿し絵入り長編小説で、基本は、一冊5丁で数冊一編を単位として刊行され、幕末期には、完結までに数十編百冊を越えるものも続出した。とくに、内容とともに、挿し絵、装丁をはじめ造本全体の意匠が重視され、各編の刊行に際し書袋も一編ごとに趣向がこらされた。書袋には各編数冊を合綴した際の表紙として使用されて残っているものもある。

尾崎久弥氏の収集した書袋は、合巻だけでも数百枚をこえ、この他洒落本、滑稽本、人情本などのものも含まれている。江戸文芸の美意識を如実に伝える尾崎久弥コレクションの面目躍如たる収集品である。

尾崎久弥コレクション展

1993. 4/3～5/2、5/8～6/6、
7/17～8/15、8/19～9/12

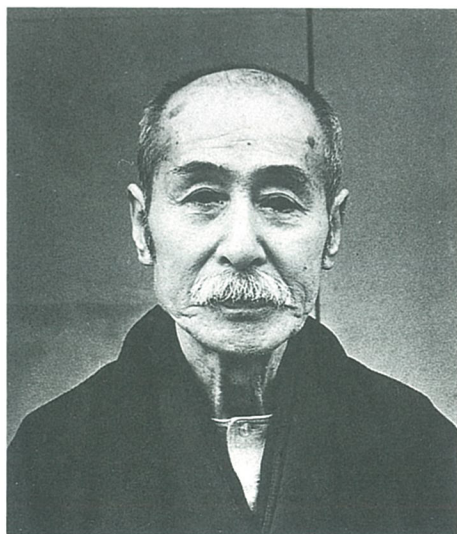
近世文学の先駆的研究者であり、浮世絵、江戸文学書のコレクターとしても知られた尾崎久弥氏のコレクションが、蓬左文庫に寄贈されてはや20年となりました。尾張藩の御文庫以来の中国、日本の古典を蔵書の中心としてきた蓬左文庫にとって、江戸の庶民文芸の宝庫である尾崎コレクションが加わったことは、戦後の蓬左文庫の新しい展開を象徴するものです。この春から夏にかけての展示では、尾崎氏自身の人柄を語る資料等もふくめ、尾崎久弥コレクションを紹介します。

明治23年(1890)、名古屋に生まれた氏は、昭和46年81歳でなくなるまで、名古屋の地を離れることなく、研究、著述活動をおこないました。青年時代の尾崎氏は、楓水の名で歌人として知られ、随筆、小説などにも手をそめています。やがて、教鞭をとる傍ら浮世絵、江戸文学研究に進み、個人雑誌「江戸文学研究」等を势力的に刊行、坪内逍遙の激励を受けるなど、大正から昭和初年ころには、名古屋の尾崎久弥の存在は世に聞こえることとなりました。ただし、浮世絵や江戸文学の研究が盛んとなったのは、戦後、昭和20年以降のことです。当時、とくに江戸後期の文学、絵画、諸芸能は、学問研究の対象とはみられず異端扱いでもあったのです。これに対し、現在では、とくに近年の江戸文学研究の盛況とともに、蓬左文庫には、全国から尾崎久弥コレクションの閲覧者が訪れます。その際には、尾崎氏の蔵書だけでなく、氏が蔵書に付したメモが書物とともに重要な研究資料となっています。

また、尾崎氏は、浮世絵、江戸文学以外に郷土史に関する資料の収集、著述活動も势力的におこなっています。戦後、蓬左文庫が事務局となった名古屋叢書では、昭和16年からの編集委員のひとりで、正編の文学編や、風俗芸能編には、尾崎氏の発掘した名古屋にかかわる著作が数多く収められています。

学生時代からの短歌雑誌の同人若山牧水の明治42年(1909)における尾崎評は、「おちつくことを知らずに、一生をすごしてゆく人の様な気がします。せかせか、せかせかと前こごみになって、ちょうど落としものでもしたひとの様に」とあります。まさしく言えて妙、事実、生前の尾崎氏の編著は単行本となったものだけでも、百をこえています。(昭和50年刊尾崎千代野編「久弥の横顔」に詳しい編著目録が収載されている。)

また、こうした尾崎久弥像は、そのコレクションからも伺われ、コレクターとしてのものの収集においても共通していたようです。尾崎氏のコレクションは、名古屋市博物館に移管された浮世絵もふくめ、書籍を中心に公開されているものだけでも、1万6千点をこえています。寄贈に際しては、この他尾崎氏の著作の原稿、手紙、新聞・雑誌のきりぬきから、出版の内容見本、映画や展覧会のポスターなども含まれ、その収集範囲の広さに驚かされます。さらに、自分自身にかかわる資料もふくめ、すべての資料に尾崎氏なりの整理の手が入っています。まさしくコレクションの一つ一つが、ものをあつめ、残すことに対する執着ともいえる尾崎氏のひたむきな情熱を我々に伝えているのです。



尾崎久弥氏

尾崎久弥略年譜

参考 尾崎久弥著「筆歴60年」(『名古屋商科大学論集 第六巻』)他

明治23. 6. 28 (1890)	名古屋市白川町に生まれる。 少年時代より、ペンネームとして楓水 を使用する。		
41. 3.	愛知県立第一中学校卒業。 熱田連中7人と、短歌雑誌「八少女」創 刊。同44年まで続く。	12. 1	和3年10月からは、「江戸文学研究」と 改題して、同7年1月まで刊行。 ペンネーム楓水をやめ、本名久弥で執筆 を開始。
4.	国学院大学高等師範部入学。	14. 6. 8	「江戸軟派雑誌」(春陽堂)刊。
43. 4.	若山牧水等と短歌雑誌「創作」の同人	昭和 3. 9. 15 (1928)	「江戸軟文学考異」(中西書房)刊。
44. 3.	国学院大学卒業。	4. ~17.	旧友折口信夫の推薦により国学院大学 講師として東京へ通う。
12.	志願兵として入隊。	10. 3. 30	「江戸小説研究」(弘道閣)刊。
大正元. 11. (1912)	除隊。	10. ~	私立東邦商業学校教諭
2. 4.	愛知県立第四中学校教諭として豊橋に 赴任。以後愛知県立第一中学校、名古屋 市立商業学校にて教鞭をとる。	16~20.	名古屋叢書編集委員(戦争により中絶)
8.	処女歌集「夢を描く」(私家版)刊行。	21~23.	東邦商業高等学校校長を勤める。
3. ~	浮世絵等の収集を始める。	22~	名古屋史跡名勝調査保存委員会(のち 名古屋市文化財調査委員会)委員。
7.	浮世絵、江戸文学研究に進む。	25. 5. 3	「江戸文学および郷土史に対する貢献」 により第3回中日文化賞受賞。
8.	小説「雪暗く」「斑」「個の羅列」名古屋 新聞に連載。	26・27.	愛知県および同県教育委員会より文化 面の貢献者として表彰
	名古屋新聞・新愛知新聞の青年記者等 とともに、総合文芸誌「胎動」を刊行。	28. 4~	名古屋商科大学教授
9. 3.	以後、研究の秘書役を勤めた吉川千代 野と結婚、六男七女を儲ける。	34~38.	名古屋叢書編集委員
11. 10.	個人研究誌「江戸軟派研究」創刊。昭	39~45.	名古屋叢書続編編集委員
		40.	東邦学園短期大学教授
		41.	勲五等(瑞宝章)をうける。
		47. 6. 2	逝去(81才)



小封
史醇



著楓
水



文楓
庫水



水楓



崎尾
藏



久弥
藏



久尾
岐(崎)



著尾
崎



久弥
藏



崎尾



久弥
著



著久
弥

尾崎久弥印譜



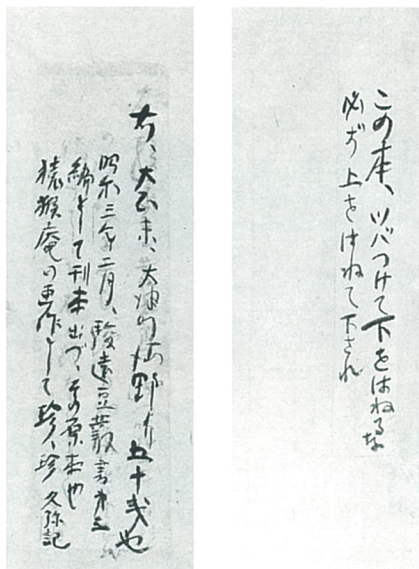
きつひむだ枕春の目覚 高力猿猴庵

寛政8年(1796) 著者自筆

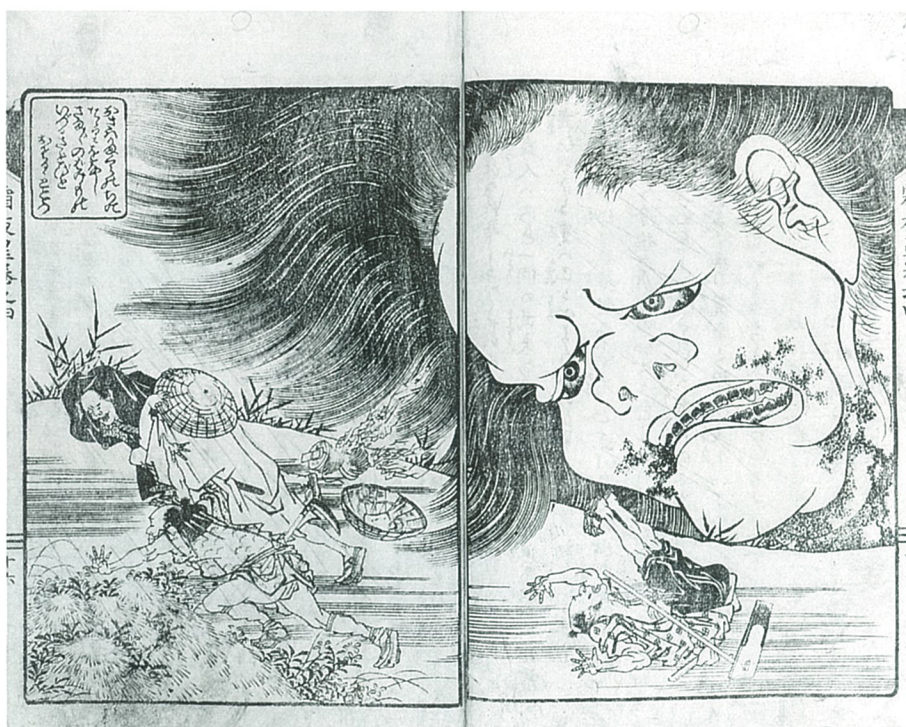
(19.4×14cm) 1冊

高力猿猴庵(1755~1831・種信、新三、与右衛門)作の黄表紙(風刺、滑稽、擬人化などの手法をもちいた絵入り本)。猿猴庵は、尾張藩士で、名古屋城下を中心にこの地方の風俗を自筆の絵と文章で描いた著作を数多く残した。

本作は、猿猴庵自作の「東街便覧図略」(熱田から品川までの東海道名所図会というもの)の完成を祝って、東海道の諸名物とくに三遠駿地方の名物たちが作者のところに礼に来るという趣向。山東京伝の作風をまねて作られたといい、鰻、鮑、とろろ汁、阿部川餅、有松絞りなどが様々な趣向で登場する。江戸時代、地方作家の地方を題材とした著作は、せいぜい貸本として普及する程度、現在まで伝えられているものは、希少な存在である。尾崎久弥氏が、「郷土本」と呼んだこうした作品の発掘、研究は、氏の業績を代表するもののひとつである。



本書の裏表紙の見返しには、「右、大正末、大津町海野より五十銭也。一中略一 猿猴庵の画作として珍、珍。久弥記」とあるが、購入の経緯を「名古屋叢書 文学編(1)」収録の際の解題に次のように記している。「(海野) 敬義堂入口の庭の土間の堆たかい反古類の中から、表紙のない殆んどバラに近い此の十葉を拾い出した。値を聞けば、勿体なや金五十銭也。喜び獲て、黄表紙の表紙づくりはお手の物。本文はコテをかけ、入紙をしてそれに表紙をかけて製本。一後略一。」さらに表紙の見返しには、「この本、ツバつけて下をはねるな。必ず上をはねて下され。」と尾崎氏自筆のメモがある。氏と書物との関係を彷彿させる一冊である。



近世怪談霜夜星 柳亭種彦作 葛飾北斎画 文化5年刊 5巻5冊 (22.5×15.8cm)

鶴屋南北の芝居「四谷怪談」と同じ素材に想を得た読本（式亭三馬の「八犬伝」を代表として、封建道徳を軸に、複雑なストーリーが壮大に展開する小説）。

文化年間（1804～18）をピークとする読本の人気を支えたとさえいわれる北斎によるこの作品の妖怪画の描写は、圧巻。本書はまた初版本で、丹表紙に鳥居清経風の絵入り題簽、挿し絵は、重ね刷りによっている。尾崎久弥コレクションの名品といえる逸品である。

蓬左文庫資料翻刻影印一覧 (2)

今回と次回は尾崎久弥コレクションの中から翻刻、影印されているものを取りあげます。

(資料名の五十音順)

資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)	資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)
艶競恋花染 (尾16-206)	草双紙選 (尾G4-78)	大江山酒顛童子談 (尾16-15)	草双紙選 (尾G4-78)
雷幸蔵轟咄 (尾16-17)	草双紙選 (尾G4-78)	女鬼産 (尾12-42)	洒落本大成 8 (Y9135-10)
いかのぼり (尾15-20)	江戸小咄本 (尾G7-13)	箴の千言 (尾12-246)	洒落本大成 25 (Y9135-10)
意気客初心 (尾12-283)	洒落本大成 29 (Y9135-10)	於杉於玉二身の仇討 (尾16-5)	草双紙選 (尾G4-78)
囲多好鬚 (尾12-171)	名古屋叢書 14 (Y081-22)	養漢裸百貫 (尾12-142)	洒落本大成 16 (Y9135-10)
	洒落本大成 18 (Y9135-10)	面美多勤身 (尾12-131)	洒落本大成 15 (Y9135-10)
田舎滑稽青樓問答 (尾12-275)	洒落本大成 28 (Y9135-10)	女名多右衛門 (尾12-114)	草双紙選 (尾G4-78)
うかれ鳥 (尾12-229)	洒落本大成 23 (Y9135-10)	女楽巻 (尾12-305)	名古屋叢書 14 (Y081-22)
浮雀遊戯嶋 (尾12-230)	名古屋叢書 14 (Y081-22)		洒落本大成 18 (Y9135-10)
	洒落本大成 23 (Y9135-10)	絵入 笠寺観音御縁起 (尾60-35)	名古屋叢書 14 (Y081-22)
(仮名手本) 団扇張替 (尾12-119)	草双紙選 (尾G4-78)	復讐鳴立沢 (尾9-14)	叢書 江戸文庫 25 (Y9135-20)
売言葉 (尾15-13)	江戸小咄本 (尾G7-13)	金郷春夕栄 (尾12-286)	洒落本大成 29 (Y9135-10)
売集御産寿 (尾15-21)	江戸小咄本 (尾G7-13)	金枕遊女相談 (尾12-314)	洒落本大成 7 (Y9135-10)
笑顔はじめ (尾15-22)	江戸小咄本 (尾G7-13)	鹿子紋娘道成辞 (尾16-186)	草双紙選 (尾G4-78)
駅客娼穿 (尾12-224, 225)	洒落本大成 23 (Y9135-10)	祇園祭 挑燈蔵 (尾12-213)	洒落本大成 22 (Y9135-10)
駅情新話夜色のかたまり (尾12-280)	洒落本大成 28 (Y9135-10)	聞童子 (尾15-12)	日本小咄集成 中 (尾G7-10)
新作落咄 扇子売〔あふぎ売〕 (尾15-24)	江戸小咄本 (尾G7-13)	奇談仮根草 (尾12-141)	洒落本大成 22 (Y9135-10)
大磯新話風俗通 (尾12-163)	洒落本大成 19 (Y9135-10)	きつひむだ枕春の目覚 (尾10-19)	名古屋叢書 14 (Y081-22)
落晰 恵方棚 (尾15-57)	名古屋叢書 14 (Y081-22)	気のくすり (尾15-19)	江戸小咄本 (尾G7-13)

資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)	資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)
教訓相撲取草 (尾13-78)	洒落本大成 22 (Y9135-10)	指南車 (尾12-217)	名古屋叢書 14 (Y081-22)
(俗談) 口拍子 (尾15-11)	江戸小咄本 (尾G7-13)		洒落本大成 22 (Y9135-10)
口学諺種 (尾12-60)	洒落本大成 10 (Y9135-10)	名古屋見物 四編の綴足 上・下 (尾13-50~54)	名古屋叢書 14 (Y081-22)
愚人贅漢居続借金 (尾12-76)	洒落本大成 12 (Y9135-10)	十二時 (尾12-285)	洒落本大成 29 (Y9135-10)
廓遊唐人寝言 (尾12-291)	洒落本大成 9 (Y9135-10)	娼客竅学問 (尾12-201)	洒落本大成 21 (Y9135-10)
傾城買杓子規 (尾12-218)	洒落本大成 23 (Y9135-10)	娼客四十八手 (尾12-304)	洒落本大成 23 (Y9135-10)
傾城買花角力 (尾27-10)	洒落本大成 23 (Y9135-10)	倡売往来 (尾12-227)	洒落本大成 23 (Y9135-10)
けいせいふたつさかつき (尾12-226)	名古屋叢書 14 (Y081-22)	志羅川夜船 (尾12-110)	洒落本大成 23 (Y9135-10)
傾城蜂手伝 (尾12-77)	洒落本大成 12 (Y9135-10)	津国毛及 (尾12-143)	洒落本大成 17 (Y9135-10)
定本 庚子道の記 (尾6-88)	名古屋叢書 14 (Y081-22)	新宿晒落梅の帰咲 (尾12-272)	洒落本大成 28 (Y9135-10)
音曲 神戸節 (尾19-228)	名古屋叢書 16 (Y081-22)	(青楼和談) 新造図彙 (尾12-112)	洒落本大成 28 (Y9135-10)
古今三通伝 (尾12-72)	洒落本大成 11 (古典文庫)(Y9135-10)	真女意題 (尾12-63)	洒落本大成 10 (Y9135-10)
滑稽臆栗毛 (尾13-96)	十返舎一九集 6 (Y9135-18)	青楼初夢草紙 (尾12-273)	洒落本大成 28 (Y9135-10)
後編甲駅新語 (尾12-240)	洒落本大成 25 (Y9135-10)	青楼夜話 (尾12-281)	洒落本大成 28 (Y9135-10)
財宝宮神戸導阿法談 (尾12-309)	洒落本大成 26 (Y9135-10)	新版 赤油行 (尾12-277)	洒落本大成 28 (Y9135-10)
柳巷訛言 (尾12-75)	洒落本大成 12 (Y9135-10)	仙台風 (尾6-81)	洒落本大成 14 (Y9135-10)
三狂人 (尾12-274)	洒落本大成 28 (Y9135-10)	退屈晒落 (尾12-234)	洒落本大成 24 (Y9135-10)
残座訓 (尾12-88)	洒落本大成 13 (Y9135-10)	宝船通人之寝言 (尾12-61)	洒落本大成 11 (Y9135-10)
四季の花 (尾12-247)	洒落本大成 25 (Y9135-10)	玉菊全伝花街鑑 (尾12-260)	洒落本大成 27 (Y9135-10)
地口須天宝 (尾15-6)	江戸小咄本 (尾G7-13)	力競稚敵討 (尾16-24)	草双紙選 (尾G4-78)

整理休館のお知らせ

蓬左文庫では、蔵書点検のため下記のように休館させていただきます。

利用者の皆様には、御迷惑をおかけすることになりますが、当文庫蔵書の末長い保存と活用のため、皆様の御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

期間 平成5年6月15日(火)～27日(日)

▷▷▷ 利 用 ご 案 内 ◁◁◁

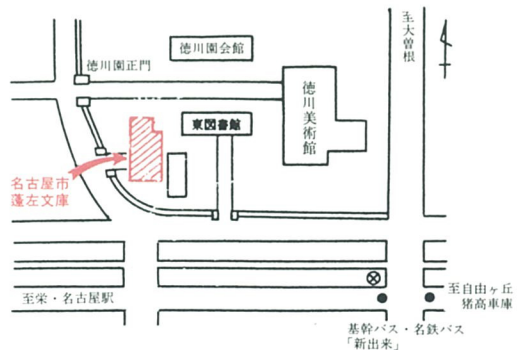
- ▷開館時間 午前9時30分～午後5時
- ▷休館日 毎月曜日・第3金曜日(館内整理日)
祝日(日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館)
特別整理期間(2週間)
年末年始(12月28日～1月4日)
- ▷閲覧 館内に限り、館外貸し出しはいたしません。
- ▷展示 随時蔵書の一部を展示
(特別展を除き入場無料)
- ▷複写サービス 保存上影響のないものについて複写サービス(マイクロフィルム利用他)を行います。ご来庫の上、ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町1001番地

☎(052)935-2173

〈名古屋駅から〉市バス(基2)「自由ヶ丘」「猪高車庫」行
名鉄バス「本地ヶ原方面」行
〈栄から〉市バス(基2)「引山」「自由ヶ丘」
「猪高車庫」行
「新出来」下車、徒歩4分



「蓬左」第49号 ☆平成5年4月3日発行 ☆編集・発行：名古屋市蓬左文庫(東区徳川町1001番地)

☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷：大同印刷株式会社(東区泉2-3-18)